



新ドクター・新入職員紹介

P 2・3

患者様満足度調査…………… P 4・5
 訪問看護ステーションさくらの紹介…………… P 6・7
 腰痛予防教室、理学療法士協会にて「銀賞」受賞 P 8・9
 地域医療を支える 医師会会員病院紹介…………… P10・11
 みんなの掲示板…………… P12



いちき串木野市医師会立 脳神経外科センター 患者様満足度調査

当センターでは、

- ・ 患者様、利用者様、御家族を含めた地域住民の皆様の安心感や信頼感を得ることができる接遇対応力の向上を目指しています。
- ・ 職員の円滑なコミュニケーションを図り、働きやすい職場環境づくりを行うことを目的に接遇向上委員会が中心に活動しています。

令和5年、11月に外来患者様、入院患者様を対象に満足度調査を実施致しました。
 (回答者：外来患者 142名・入院患者 26名 合計 168名)



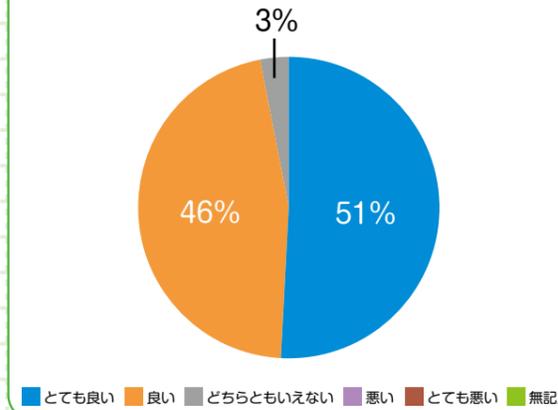
利用者様の声

- いつもありがとうございます。
- 説明に満足できます。
- いつも良くして頂いて感謝です。
- 親身になって話も聞いてくださり救われました。
- 高齢者に対して接し方があたたかいと感じています。
- 少々きつい言葉で物言いをされた、やさしくして欲しい。
- 診察に待たされた。
- 会計に時間がかかる、もう少し早くして欲しい。
- 受付番号があればありがたいです。

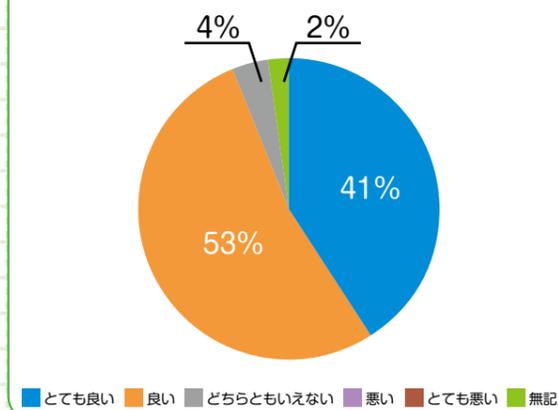
さまざまな貴重なご意見の一つひとつを真摯に受け止め、各担当部署にて検討し、より良い方向に実践できるよう取り組んで参ります。ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

いちき串木野市医師会立 脳神経外科センター 接遇向上委員会

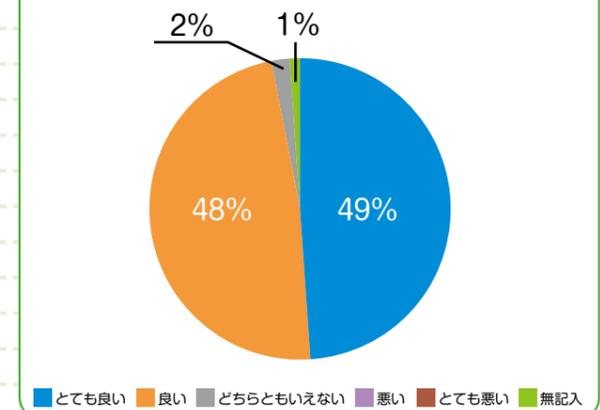
言葉づかいや表情は良いですか



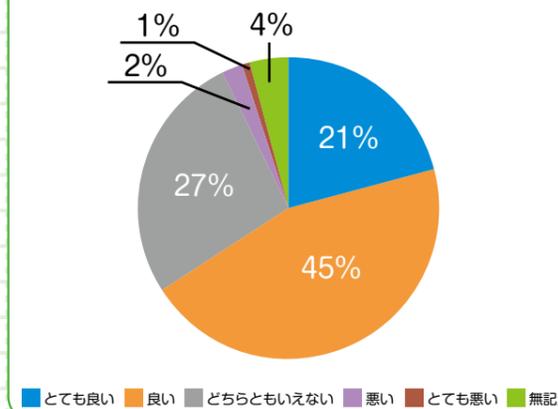
心配事や要望に耳を傾けていますか



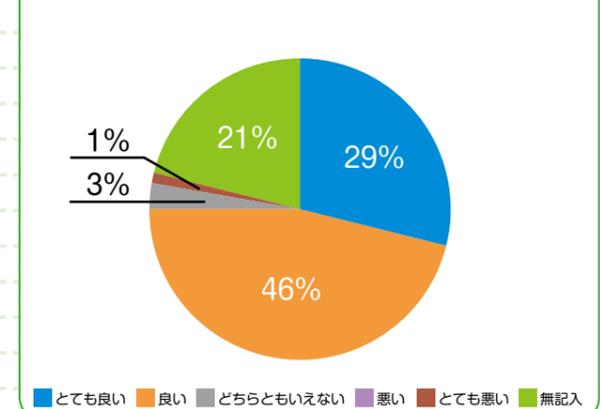
説明はわかりやすいですか



待ち時間に対する配慮がありましたか



病院内の環境・設備



訪問看護ステーション さくら

基本理念：心に温もりのある看護を提供します



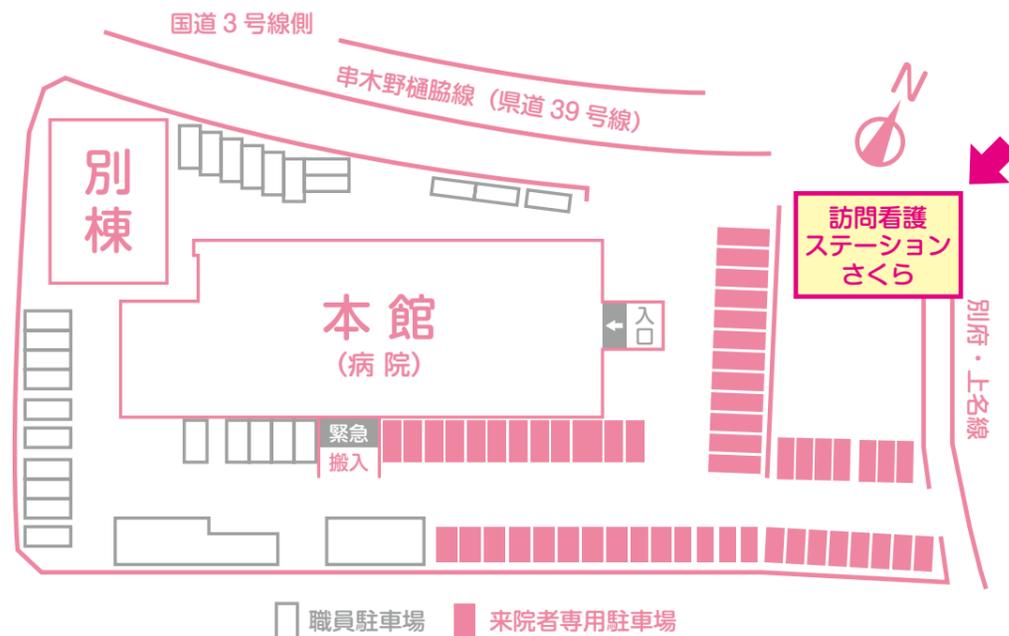
名称の由来

いちき串木野市の市花は「桜」である。
 「桜」の語源は、「咲く」に複数の意味する「ら」を加えたものとされ、元来は花の密生する植物全体を指したという説があります。
 いちき串木野市において、「さくら」の語源のように地域に密接できる訪問看護ステーションでありたいとの思いでつけられました。

特徴

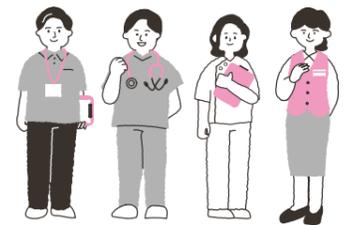
- 小児から高齢者までを対象にサービスを提供しています。現在、精神科訪問看護は行っていません。
- 医療保険・介護保険、両方に対応しています。
- 365日24時間でサービスを提供しています。
- 訪問看護/訪問リハビリ/居宅を一体的に提供できるステーションです。

いちき串木野市医師会立 脳神経外科センター



STAFF

- 看護師：10名（常勤8名、非常勤2名）
- リハビリ職員（常勤4名、兼務2名）
理学療法士 / 作業療法士 / 言語聴覚士
- 事務職員：1名
- 介護支援専門員：4名



私たちの思い

- ・医療者である前に、ひとりの人として、地域の方々に頼られる存在でありたい。
- ・看護を通して「生きることの支援」を実践し、家でいい時間を過ごせるようにサポートしていきたい。

地域住民の方々の「家で過ごしたい」を叶えるために、多職種と協働しながら日々精進しています。



「敬老の日」のひととき

利用者やご家族が住み慣れた家で楽しい時間が過ごせるように、スタッフ手作りのささやかなプレゼントをお渡ししています。



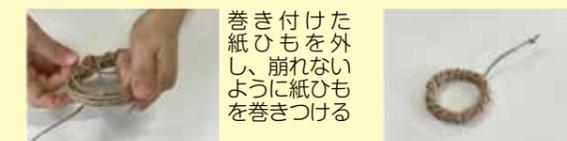
リースの作り方

材料
 ・紙ひも（リースベース）
 ・飾り付け部品（デコレーションパーツ）
 リボンテープ・ボタン
 シーグラス・貝殻
 ビーズ・ドライフラワー
 枝など

工具
 ・ハサミ
 ・接着剤（ポンドやグルーガンなど）

※今回の飾り付け部品は、利用者から頂いたものや海岸などで採取したものを使用しています。

①リースベース作成



しっかり巻き付けて結ぶ

②飾り付けを接着する



③完成



腰痛予防教室、理学療法士協会にて「銀賞」受賞 令和6年2月7日(水)

内容：腰痛予防・体操について 対象：脳外科センター全職員 講師：西菌 PT、永田 PT

当院で開催した腰痛予防の取り組みを理学療法士協会へ報告した結果「銀賞」を頂く事ができました。

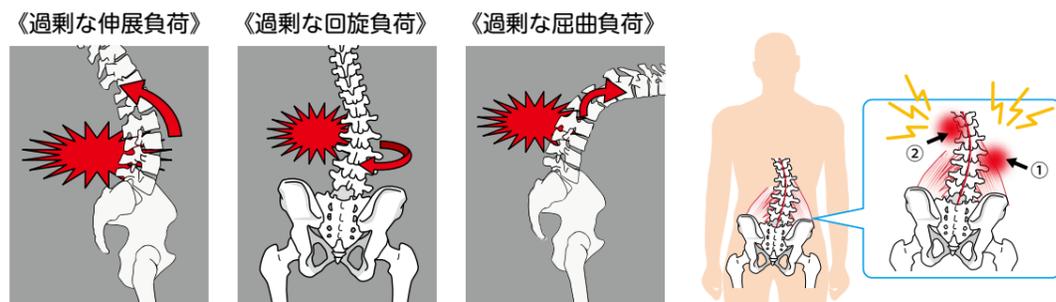
参加者は腰痛経験者が多く、勤務中に痛みを訴える方も多くいました。運動指導後は「スッキリした」「体が楽になった」とポジティブな声を頂くことができました。

今後も患者・利用者様だけでなく、職場全体の健康づくりにも関わっていききたいと思います。



腰痛予防教室で行った内容を簡単に掲載します！

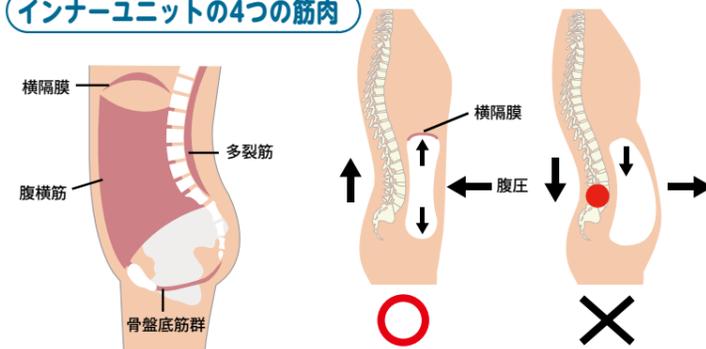
腰椎の運動学的異常



まずは腰痛が発生するメカニズムについて説明しました！
腰椎はカーブが急なため、**剪断力（ズレが生じる力）**がかかりやすく、**周囲の筋肉や神経や血管が圧迫**され痛みが生まれやすいのです！

それではどうすればいいのか？

インナーユニットの4つの筋肉



腹横筋、多裂筋、骨盤底筋群、横隔膜のインナーユニットと呼ばれる筋肉をバランスよく鍛えることで、適度な腹腔内圧が保たれ、腰椎が安定化し、**剪断力**を軽減できます！

トレーニングの内容は…



①お腹をへこませた状態で深呼吸を繰り返す、腹横筋を鍛える方法や
②背中を丸めたり反らし、多裂筋を鍛える方法、
③両膝を横に倒し、逆側に首を向けて腹斜筋を鍛える方法など
様々な負荷で試せる方法を紹介しました！

他にも立ちながらや座りながらでもできるトレーニング方法を紹介し、家事や仕事の合間でも行ってもらえるようにしました！



※詳しいトレーニング方法を知りたい方は当センター理学療法士までご連絡ください。

いちき串木野市医師会立 脳神経外科センター



院長 / 石丸 浩一
 住所 / いちき串木野市生福 5391 番地 3
 電話 / 0996-32-9999
 診療時間 / 外来受付時間
 【月・火・水・木・金・土】8:00~11:00
 外来診療時間
 【月・火・水・木・金】8:30~17:00
 【土】8:30~12:00
 ※午後は救急対応のみの診療となります。
 休診日 / 日、祝日
 ※ただし急患の場合はこの限りではありません。

診療案内

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	○	×
午後	×	×	×	×	×	×	×

◆ 脳神経外科、リハビリテーション科 内科(入院のみ)

当センターは、昭和62年に「救急医療センター」という名称で桜町に10床で開設されました。その後、増床を行いながら、平成12年に現地(生福)に64床の病院として移転しました。
 病院機能として、急性期病床27床、地域包括ケア病床12床、回復期リハ病床25床を備えています。急性期では、脳神経外科専門医を中心に質の高い医療提供を目指しています。また、回復期では、リハビリテーション科専門医の指示のもと多職種協働で生活の場への復帰を全力で支援致します。令和5年、リハビリテーション分

野において「促通反復療法実施施設」となり、質の高いリハビリ提供を目指します。
 また、平成25年より「訪問看護ステーションさくら」を開設し、平成30年には居宅支援事業所さくら・短時間通所リハビリテーションを開始致しました。退院後の生活や在宅生活の支援を行っています。当医師会会員の先生方と協力し、地域貢献を目指します。
 センター理念の「地域住民が求める安全で信頼される医療を行う」を実践し、これからも地域のニーズに合わせた医療提供を目指していきます。

短時間通所 リハビリテーション

営業日 / 【月・火・水・木・金・土】
 ※土曜日は午前中のみ営業。
 祝祭日・年末年始は休業。

サービス時間

時間帯	送迎	月	火	水	木	金	土	日
9:00~10:30	○	○	○	○	○	○	○	×
10:30~12:00	○	○	○	○	○	○	○	×
14:00~15:30	○	○	○	○	○	○	×	×
15:30~17:00	○	○	○	○	○	○	×	×

当事業所は介護保険を利用するリハビリテーション主体のデイケアです。利用時間90分のリハビリテーションの中で、お一人お一人の生活目標に合わせたメニューを取り入れ、ご利用者様の自立や目標達成を支援させていただきます。
 要支援、要介護1~5の方を対象とし、食事・排泄・更衣・入浴等の日常生活動作や掃除、洗濯、散歩、買い物、庭

いじり等の動作獲得の支援、脳卒中の専門的リハビリテーションにて手足に麻痺がある方やコミュニケーションや飲み込みに支障がある方の支援、職業復帰を目指す方の支援をしております。
 住み慣れた地域でご利用者が生活上、何を大切にされているか、どうしたら望まれる生活を実現できるかを一緒に考え、リハビリテーションサービスを提供しております。



「一人で家の中を歩きたい」歩行練習、装具のチェック、補助具の提案を行います。



「字が書けるようになりたい」手の麻痺に対し、状態によって訓練用ロボットを使用した練習を行います。



「食べにくい」「話にくい」口腔や嚥下機能練習、コミュニケーションの練習を行います。



利用者の心身機能に応じた運動や生活・家事動作の練習を提供します。

訪問看護ステーション さくら Tel 32-2020



家でいい時を過ごす

住み慣れた我が家に帰りたい。
 そして家族と一緒に過ごしたい。その思いを叶えるお手伝いをします

住み慣れた家で最期まで 心に温もりのある看護を提供します

私たち訪問看護ステーションさくらは、利用者様が住み慣れた地域で安心した生活が送れるように24時間いつでも支援します。
 これからも選んでいただける訪問看護ステーションとして、さらに利用者様とご家族に寄り添い、より良いサービスを提供し頼られる存在になれるよう努力していきます。

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士によるリハビリをしています。体の動きや生活動作の改善・維持、さらに飲み込みや発声など望まれる生活ができるように訓練していきます。



居宅介護支援事業所 さくら Tel 32-4570

住み慣れた地域で、その人らしく

常に、介護を受けられる方の尊厳を何よりも大切にし、ご家族のご意向も最大限にくみとりながら、住み慣れたご自宅、住み慣れた地域での生活を実現するためのサポートをいたします。

居宅介護支援 (ケアマネジメント) とは?

ケアマネジャー介護全般のご相談に応じ、サービス計画(ケアプラン)の作成を行うサービスです。適切なサービスをご利用いただくために、ケアマネジャーはご利用者さまの状態やご家族の要望をおうかがいし、ケアプランを作成します。サービスを行う事業所の選定、ケアプランの変更が起きた場合の調整を行います。介護に関するあらゆるご相談に応じ、介護サービスのトータルサポートをいたします。

ケアマネジメントの流れ

Step1

当事業所のケアマネジャーが利用者様のお宅にご訪問いたします。

Step2

ご利用者様とご家族のご要望をうかがいながらケアプランを作成いたします。

Step3

ケアプランに基づいたサービスを利用する手配をいたします。

Step4

月に1回はご利用者様のお宅を訪問して、状況の把握・確認をいたします。

みんなの掲示板

好評につき、 キッチンカー再来



去る12月16日(土)当センターにキッチンカーをお迎えしました。
今回は湧水町より米粉クレープのさきファームさん、鹿児島市より米粉チュロスの7days stand EDGEさんにお越しいただきました。あいにくのお天気でしたが、普段あまり目にしないこだわりの米粉のスイーツは大好評でした。企画した者としても、とても嬉しく笑顔溢れるひとときを過ごすことができました。

当センターの職員や患者さん・地域の方々へ、
楽しい・嬉しいの輪が拡がり当センターや地域が益々活性化することを願い、
今後も企画してまいりたいと思います♪

次回はどんなカタチでお届けしようか…

みなさま、ワクワクしてお待ちください！！

イベントプロジェクトチーム 早曾

リクエスト
お待ちしております

次回、キッチンカー招致は5月18日(土)決定！！
お弁当・スイーツなど出店予定

ホームページリンク先

公益社団法人
いちき串木野市医師会



いちき串木野市医師会立
脳神経外科センター

